

知ってる？
 あなたは愛されているんだよ。
 誰に？
 あなたの「命」を創られた方に。
 かけがえのない、あなたという
 一人の存在を創られた方に。
 創られた方にとってあなたは誰
 にも変えられない大切な大切な
 存在なんだよ。
 本当に私が……
 誰と比べるわけでもなく、ただ、
 あなたという存在がそのまま愛
 されているんだ。
 私にはできなくても、あなたを
 創られた方にできるんだ。
 「自分を愛せない人は人を愛する
 ことはできない」って言われた。
 もっともだと思った。
 だから私は人を愛することはで
 きないんだと。
 だから、「愛されること」「愛する
 こと」どちらが優先されるの？
 と聞かれたとき、「愛すること」
 です。と答えたことがある。
 でも、こんな私でも「愛されて」
 いることを知った。

私たちは目に見えるものが優先
 されがちなきが多い。
 でも、考えてごらんよ「目に見え
 るもの」も「目に見えない」もの
 も大切にしている。
 そんなことないよ。と言うとき
 があるかもしれないけど
 あなたが生まれた日、あなたを

生んだ人、あなたの家族……
 いろんなことが信じないと、今
 のあなたをあなたであると証明
 してくれない。

でもね、あなたという「命」はあ
 なたを創られた方の保証付きな
 んだよ。

誰が何と言おうと。
 あなたは愛されている存在な
 んだ。
 それは、あなたが出会う全ての
 一人ひとりと同じなんだよ。
 見えなくても、触れなくても。信
 じようよ。
 あなたは愛されている、あの人も
 この人も。そしてあいつも。

「自分のことを愛せない人は人
 を愛することができない」とい
 う言葉なんだか困っちゃう、だっ
 てどうしようもない。
 私自身を愛するってなんだか難
 しい。

でも大丈夫なんだ、あなたは愛
 されているから。
 あなたの「命」を創られた方があ
 なたを愛してる。
 教えてあげなよ、あの人も。あ
 なたは愛されてるよ。って。

「わたしがあなたを愛したよう
 に、あなたも互いに愛し合いな
 さい信仰の足跡をたどる旅」っ
 て

勝手に愛することはどういうこ
 とか自分で考えなさいと言われる
 のではなく。
 わたしがあなたを愛している。
 そのようにあなたも互いに愛し
 合うことができるんだよ、って。
 だから、できるよあなたなら。

愛されるってどういうこと？
 そのままのあなたが受け入れら
 れてること。大切にされてるっ
 てこと。
 一人ではないってこと。
 あなたを愛してるよ。

たいせつなこと

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。
 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
 ヨハネによる福音書 13章 34節（日本聖書協会・新共同訳）



Photo:Eva Schuster (SCX)

「善く生きる」ことを身をもって示したソクラテスは、生前は授業料も取らずに、毎日街に出かけ、市民としての普遍的な理想を説いたといえます。そして人間としての善さを①思慮、②節制、③勇気、④正義として、4つの徳の何たるかを市民に問いかけました。

しかし、ソクラテスの死後、アテナイの繁栄に陰りが見え始め、マケドニアの支配下におかれてしまいます。けれども文化的な優位は保ち、アテナイ市内には4つの学校が軒を連ねたといえます。すなわちプラトンによる「アカデメイア」、イソクラテスの開設した「修辞学校」、ゼノンの「ストア派の学校」、それと「エピクロス園」

の4校です。どの学校もソクラテスの精神的遺産を引き継ぎ、「完全な人」を教育理念に掲げ、特色を出すために、しのぎを削ったといえます。

教育基本法第1条には、教育目標を「人格の完成」と規定していますが、日本とギリシアとでは、時代場所が違いながら、理念が重なり合う偶然はちよつと面白いですね。

エピクロスについては、日本では誤解されており、エピキュリアン（快樂主義者）と蔑まれますが、エピクロスは300巻もの著作を残した学者でした。エピクロス園では、知的な「静的快」を最高のものとし、身体的に苦しいこと、魂において乱されぬこと、そのことが平

静と呼ばれる心境で、哲学はこの心境に達するため知識であると弟子たちに教えていました。

最後に、紀元前11世紀ころ、半島南部を支配したスパルタについて記しておきます。

スパルタはメッセニア人の土地を没収し、彼らを農奴（ヘイロタイ）にしたので、反乱に手を焼きました。そこでスパルタは、世にも不思議な国家体制を敷き、社会全体を軍隊組織、規律正しい共同体にしたのです。物欲や所有欲をなくすために、金貨、銀貨を廃止し、鉄の貨幣を使用させました。かさ張る貨幣は不便で、賄賂なども激減し、スパルタからたちまち不正が姿を消す事態とな

りました。

15人がひと組となる共同食事制度も考案され、美食は放逐されて、同席する大人は少年たちに向かって、節制と努力、会話術、政治論などをたえず聞かせたのです。

奇妙なのは、食物の盗みを働かせるという訓練も行われ、もし捕まってしまうと、厳しく罰せられたといえます。少女たちも少年と同じような訓練が行われ、かなりの年齢に達しても、娘たちは全裸で競争、格闘、やり投げを行うように命じられました。

このようなスパルタの異常な教育は、森本哲郎氏の『戦争と人間』（PHP文庫）に詳しく書かれているので、ご一読をお勧めする次第です。



人形制作 / 杉岡広子 <http://www.bibledollministry.com/>

十字架の道行き

【祈りの言葉】

イエスよ。母マリアは剣で胸を差しつらぬかれる悲しみにあいました。私たちは、別離や死のように、言いようのない悲しみに出会うとき、その慰めをどこからえるのかわかりません。主よ、あわれんでください。

感謝

参議院議員でエッセイストの山谷えり子さんは、彼女の祖母が、感謝の名人であったことを記しておられます。

「今日は、電車でかわいい女子中学生がいたのよ」「散歩してたら、目の前で花が揺れたのよ」「お店に入るとちょうど残りものがあって安くしてくれたの」と、山谷さんが家に帰ると、ニコニコ話し、彼女もまたニコニコと聞いてうなづきました。

その話をそばで聞いている叔父や叔母は、「かわいい女子中学生と乗り合わせたってそれがどうした?」「花が揺れたのは風が吹いたからやないの」「安くしたのは売れ残るよりマシだから。食中毒にならんといいいけどなあ」祖母は家族ならではの皮肉を聞き流し、「今日も神さまは、私と一緒にいてくれはったという証拠

やねえ」と、私に目配せしながら笑うのでした。「おばあちゃんには、よく神さまがくつつくね。えこひいきされてるって感じ?」と山谷さんが聞くと、「神さまは、えこひいきせんよ。私が神さまのサインを見つかるのがうまいだけ」と言うのでした。

園庭にこの春植えた野菜が実をつけ始めました。茄子やピーマン、枝に隠れて赤く色づいたトマト、それを見つけた園児たちは、一様にその不思議を身体で表現しています。ややもすると目の中に飛び込んでくる現象を無視してしまうことがよくあります。しかし、立ち止まり、そこに目をやると、これまで見過ごしていたものがまた違って見えて来ます。園児たちの大発見は、すばらしいものを回りの大人に与えてくれます。大人の目では当たり前光景が、子どもの目では違っているのです。先ほどの山谷さんのおばあさんも、99歳で亡くなるまで、子どもの目を持って過ごされたようです。

私たちも、子どもと一緒に同じ感動を共有したいものです。そのためには、「花が揺れたのは風が吹いたからやないの」の大人の思いを少し横において、素直な感謝と喜びを体中で味わい表現したいものです。子どもの成長とその不思議を新たに思い起こし、感謝の目で見つめましょう。

(園長)

